

企業が伸びる、個性ある地域社会創造のために、今、何が必要か。何をすべきか。

地方のICT戦略 [59]

Information and Communication Technology

佐久平を中心に、東信地域の幅広いエリアで土木・建築工事を手がけてきた黒澤組。県の優良技術者や国土交通省の優良工事など多くの受賞歴を持ち、高く評価されている総合建設会社だ。社員のために働き方改革を実現し、また経済産業省が推進するDX(デジタルトランスフォーメーション)に向けた一手として導入したのが、「コワーキングストレージ」であった。

今年創業70周年

創業当時から「自社一貫施工」

「御社の事業内容や事業の強みについて教えてください。」

黒澤社長 当社は、佐久平を中心に東信地域において、公共施設の建築から宅地造成・個人住宅の建築をはじめ、道路新設・河川維持などの公共土木工



Interview

株式会社黒澤組

代表取締役社長

黒澤 和彦さん

事に至るまで、さまざまな分野で施工実績を積み重ねている総合建設会社です。土木・建築部門に加え、生コンクリートやアスファルト合材のプラント工場も運営し、トータルで幅広い業務を請け負える総合力と高い技術力が評価されています。

また、近年はSDGsにも積極的に取り組み、今年4月には「長野県SDGs推進企業」として登録されました。太陽光パネルの設置のほか、自社のリサイクルプラントでは工事現場から持ち込まれたコンクリート塊やアスファルト塊から再生砕石を、木・幹・根などからウッドチップを製造、また水力発電の工事の受注・施工も行っているなど、地域社会へより一層の貢献ができるような活動にも取り組んでいます。

CADデータやエクセルデータ、

膨大な現場写真を保持管理

「建設業界でもICTを活用した現場

の変革が進められています。御社がNTTの「コワーキングストレージ」を導入したきっかけは、なんだったのでしょうか？



黒澤社長 以前は、クラウドストレージを使用してCADデータやエクセルデータ、膨大な現場写真などを保存管理していました。それが容量が小さいにもかかわらず、かなり使い勝手が良かったんです。

当社は、今年で創業70周年を迎えますが、お陰様でさまざまな自治体や公共団体様からお声をかけていただくようになり、仕事の幅が広がるとともに社員の働く環境も広範囲になりました。そうすると、前に使っていたストレージでは容量がこなせなくなったのです。どの現場においてもCADファイルや工事写真などの送受信が快適に行われ、社員同士の情報共有をしやすくするためには、大容量を保持できるストレージが必要となりました。そこでICTに詳しい社員を交えてどういうクラウドサービスが最適なのか相談したところ、容量や費用、データのバックアップなどで、NTTさんの「コワーキングストレージ」がベストな選択だと導入に至ったわけです。

働く社員にも年代層の幅があり、ITに長けている人もいれば弱い人もいます。「コワーキングストレージ」は、パソコンのエクスペローラーをクリックするようになっているので、操作性の良さも魅力でした。また、公共事業に関わっているので、守秘義務も発生します。「コワーキングストレージ」は、IDとパスワードの入力が必

要となるため、情報セキュリティの面でも安心でした。

さらなるICTの活用で

働き方改革を進めていきたい

「コワーキングストレージ」の前に、「ギガらくVPN」も導入されていますね。**黒澤社長** 「ギガらくVPN」は、福利厚生の一環として導入しました。最近では、当社のインスタグラムを見て入社を決める社員もおり、今年も九州から新卒の学生がやってきました。若い社員が入居する社員寮も、社員からの要望もあつてWiFiを設置してインターネット環境を整備しました。また今年には作業服もおしゃれなデザインに替え、社屋の一部も春から増築に取りかかります。建設業で働きたいという若手社員の意欲を高めるためにも、さらに職場環境や生活環境の改善に努めたいと考えています。



「今後、ICTの活用で何か考えていることはございますか？」

黒澤社長 以前は会社を大きく、売上げを上げることに傾注してきましたが、企業にとって社員の働きがいが高めていくことが、企業努力の最たる目標だと考えるようになりました。

皆さんもご存知のように、経済産業省は各企業に対してDX(デジタルトランスフォーメーション)の推進を促しています。建設業界でもICTをはじめとするデジタル技術を取り入れ活用する動きが始まっています。その

第一手として当社は「コワーキングストレージ」を導入したのですが、今後はクラウド型のサービスを取り入れて、社員教育や研修にも力を入れていきたいと考えています。

ドローンで空中からの撮影・計測を行ったり、デジタル技術を施工などに取り入れることで省力化や高速化も進められることでしょう。それにより効率良く生産性を上げれば、週休2日制などの待遇改善にも役立ちます。いずれにしても、ICTの活用は建設業界でも可能性が広がっています。これからはNTTさんのお力を借りて、会社の魅力をどんどん発信していきたいです。



本社

Profile

○株式会社黒澤組

事業内容 総合建設業

本社 南佐久郡小海町大字千代里31602

営業所 東御営業所、生コンクリートプラント工場、小海アスコン株式会社、株式会社小海アスコンリサイクルプラント

代表取締役 黒澤和彦

従業員 100名(2024年3月現在)

URL <https://kurosawagumi.co.jp>